

ポールのたなべ穴場めぐり

国際交流員のポール・フィンです。「ポール」と気軽に呼んでください。このコーナーでは、私が市内各地の穴場を巡り、見たもの・経験したことを皆さんにお伝えしていきます！



第8回 Mountaineering

今年は例年に比べて日本全国で雪が少ない年でした。田辺はもともと雪はあまり降らないそうですが、春が訪れてもまだ雪が少し残っているところがあるということで、今回はそんな田辺の雪を見に「龍神岳」に行ってきました。龍神岳は、標高 1382m の和歌山県の最高峰です（富士山の約 3 分の 1 ですが、アイルランドの最高峰よりも約 300m も高い山です！）。隣にある護摩壇山が、平成 12 年に調査されるまでは県最高峰だと言われていたことや、龍神岳という名前も、平成 21 年に新しく付けられたものだということを教えてもらいました。

高野龍神スカイラインを進んでいくと、周りの景色もだんだんと真っ白になっていきました。頂上は空気が薄く、気圧の変化で耳が痛くなりました。所々が滑りやすく、足元に気を付ける必要がありましたが、登った先から見える眺めは息をのむほど美しかったです。ここには人工林だけではなく天然林も多くあるので、森林浴をするのにおすすめです。今度は紅葉の季節に来て、美しい紅葉を見たいと思いました。



たなべスマイル



木の大切さを知り
愛着を持って



塩路 真隆 さん (左)
西峰 藍莉 さん (右)

下万呂 家具店スタッフ
☎ 0739-33-7785

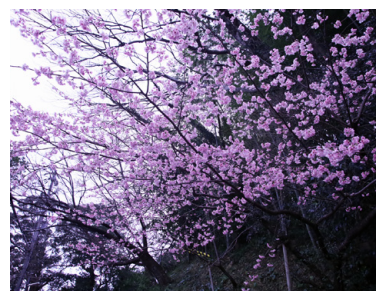
家具店を始めてから、多くの方々に支えられて今年で 10 周年を迎えることができました。皆さんのご自宅には多くの家具があると思いますが、日本は一人当たりの木材消費が世界で 2 番目だということをご存じでしたか。家具の消耗品化で買い替え周期が早く、使う木材の消費を早めています。世界では毎年、日本の国土の約半分の森林が破壊されているという現状もあります。

そのため当店では、『少しでも長く愛着を持って使ってもらえるように』を心掛けています。中でも一枚板は、値段こそ高いものの、親から子へ、子から孫へと世代を超えて使うことができ、さらに思い出も加わっていきます。また、ほとんどの商品を国産品にこだわり、安心・安全なものを届けられるようにしています。

これからもっとお客様に喜んでもらえるよう頑張っていきたいです。何か家具でお悩みの方は是非ご相談くださいね。



青春キラリ！高校生レポーター



高山寺

写真・文 田辺高等学校 西脇 美緒

今回、私は市街地を一望できる高台に位置する高山寺を訪れました。弘法大師が開創したとされ、地元の方から“弘法さん”と呼ばれ、親しまれています。境内にそびえる多宝塔は、全国的にも珍しいことに聖徳太子が祀られています。この背景には、当時の大工さんが聖徳太子を信仰していたことがあります。当時の建築技術で最も難しい方法で造られており、これはスカイツリー建築時にも使われました。また、南方熊楠が粘菌の研究拠点とし、神社合祀反対運動のきっかけとなった神社や彼のお墓もあります。さらに、多くの自然が残っており、一年中何らかの花が咲いているようです。今の時期は桜がきれいに咲いているので、是非行ってみてください。

取材を通して、高山寺という場がどれほど田辺と密に接しているか知ることができました。こんなに歴史的にも地形的にも結びついている所は他に無いと思います。訪れる度に新しい発見がありそうでわくわくしますね。

備えて安心！防災コラム



第71回 早期注意情報について

4 月は低気圧が日本付近を発達しながら通過することが多く、天気の変化が激しい月です。この時期に大荒れの天気をもたらす温帯低気圧は、日本付近に北から入り込んでくる冷たい空気と南から流れ込む暖かい空気がぶつかり合って、上昇気流が生まれることで発達します。この温帯低気圧は、中心から離れた場所でも強い風が吹くため、被害の範囲が広がりやすいという特徴があります。

暖かくなり始め、お出掛けや海や山でのレジャーが盛んになってくる季節ではありますが、急激な天気の変化や、強風、高波に十分注

意する必要があります。大荒れの天気が予想される場合は、気象庁から『早期注意情報』が発表されます。早期注意情報とは、5 日先までに警報級の現象が予想される場合に「高」、「中」の 2 段階で発表される情報で、気象庁のホームページで確認できます。

お出掛けやレジャーを計画されているときは、こまめに天気予報や気象情報などを確認し、場合によっては計画を変更するなど、無理なく楽しみましょう。

☐ <http://www.jma.go.jp/jma/kishou/keika/index.html>



図書館へ行こう



司書のおすすめ！新着図書



にっぽん全国 100 駅弁
著／櫻井 寛
発行／双葉社

日本の食文化として世界に誇れる駅弁。駅弁マニアの著者が選りすぐりの駅弁を紹介する。ちなみに、和歌山県は、2つの駅弁が掲載されている。



日本の歴史人物 悪人事典
著／河合 敦
発行／ワニブックス

歴史上の「悪人」を集めて紹介した本です。大泥棒、独裁者など40人が集結。読み終わったとき、歴史上の悪人に対する考えが変わるかもしれません。

ひとことコラム

昨年4月から働き方改革関連法が順次施行されており、この4月からは、中小企業でも時間外労働の上限規制が導入されています。直接は関係ないですが、この時期に合わせて『倍返しだ！』で人気を博した企業ドラマも復活するようです。図書館には、この原作のシリーズもそろっていますので、是非この機会に読んでみてください。(雄)

休館日

本館＝毎週㊿(㊿を除く。)、4/23 ㊿(整理日)、5/7 ㊿(祝日振替)
龍神分室＝第1・3 ㊿㊿、4/29 ㊿㊿、5/2 ㊿～5/6 ㊿㊿
中辺路分室＝毎週㊿、4/29 ㊿㊿、5/3 ㊿㊿～5/6 ㊿㊿
大塔分室＝第1・2・3 ㊿、毎週㊿、4/29 ㊿㊿、5/2 ㊿～5/6 ㊿㊿
本宮分室＝毎週㊿㊿、4/29 ㊿㊿、5/2 ㊿～5/6 ㊿㊿

※移動図書館の運行日時は、下記へお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。
図 市立図書館 ☎ 0739-22-0697 □ <http://www.city.tanabe.lg.jp/tosho/index.html>

お子さんと一緒に
おはなしのコーナー

★おはなし会

絵本の読み聞かせや紙芝居など(対象：4歳くらいから)

本館＝4/5・12・19・26、5/3・10 全㊿(11時～)

中辺路分室＝4/18 ㊿(11時～)

大塔分室＝4/25 ㊿(10時30分～)

★おはなしタイム

おはなしや絵本の読み聞かせなど(対象：4歳くらいから)

本館＝4/4・11・18・25、5/2・9 全㊿(11時～)

★ひよこタイム

絵本の読み聞かせやわらべうたあそびなど(対象：0～2歳くらい)

本館＝4/15 ㊿(11時～)

★こぐまタイム

絵本の読み聞かせやわらべうたあそびなど(対象：2～3歳くらい)

本館＝4/15 ㊿(11時30分～)

開館時間

本館＝㊿～㊿9時30分～19時30分
㊿・㊿9時30分～18時

分室＝9時～17時

※龍神分室は、㊿～㊿20時まで時間延長あり。中辺路分室は、㊿のみ16時45分まで。

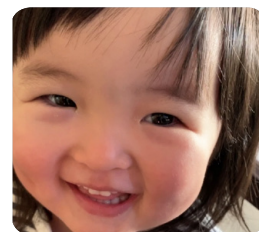
我が家の愛ドル ～4月生まれ～



早瀬 春斗ちゃん(1歳)
お誕生日おめでとう！
これからもいっぱい食べて元気に育ってね！



谷本 愛里沙ちゃん(2歳)
お誕生日おめでとう！
おおらかで、優しい子に育ってね。



岡本 早代ちゃん(3歳)
さーちゃん、3歳のお誕生日おめでとう！
春から幼稚園、頑張ろうね♡
父母より



大野 湊太ちゃん(1歳)
1歳のお誕生日おめでとう！
出来ることが増えて、毎日どんどん楽しくなるね！
いつも笑顔いっぱいのそうちゃん、幸せな日々をありがとう！



龍見 実空ちゃん(2歳)
2歳のお誕生日おめでとう！
いつも笑顔で、元気いっぱい育ってね。

広報発行月に誕生日を迎えるお子さん(就学前まで)の写真を募集しています。氏名、住所、生年月日、電話番号、簡単なコメント(50字まで)を添えてください。5月生まれのお子さんの締切りは、4月10日㊿です。掲載できる枠に限りがありますので、先着順とさせていただきます。ご了承ください。
■宛先 〒646-8545 新屋敷町1
企画広報課 広聴広報係 ☎ kikaku@city.tanabe.lg.jp



すくすく子育てクラブ

第80回 子供の遊び(屋外編)



本宮行政局
住民福祉課
有木 正也

幼児期に様々な運動(遊び)に対して、幼児が興味を持って自発的に関われることは大切です。運動の経験の違いは、動きの獲得や心身の発達にも差をもたらすと考えられています。体を動かすことで、次のような成長が望めます。

◇体力・運動能力の向上

走る、飛ぶ、ボールを投げる、ぶら下がるなどの動きを通して神経機能の発達が促されていきます。

◇健康的な体の育成

肥満や痩せるのを防ぎ、成人後の生活習慣病のリスクを低くすることができます。

◇意欲的な心の育成

様々な「できた！」という成功体験を重ねていくことで意欲的な心が育まれます。

◇社会適応力の発達

仲間とのルールを守り、協調する社会性を身に付けることができます。

◇認知能力の発達

鬼ごっこで逃げたり、飛んでくるボールの方向を予測したりと、外遊びは危険予測や状況判断といった脳の発達を促す効果やルールの工夫、新たな遊びを考え出す創造力も育まれます。

さあ、「1日60分以上、体を動かすこと」をお子さんで行いましょう！